



茶室“畊堂庵”がお披露目

改修された臨江閣茶室の名前が、建設に寄与した初代県令楫取素彦の雅号にちなんで畊堂庵に決定しました。3月1日の命名式には関係者らが出席し、新しい茶室で茶を堪能。会場は全国都市緑化ぐんまフェアで一般公開します。

農業総合研修センターで2月27日、春のお寿司料理教室を開催。本市産の米を使い、花寿司と押し寿司を作りました。色とりどりの具材を順に牛乳パックの型に詰めてできた押し寿司はひしもちのような美しさ。参加者は一足早いひな祭り気分を味わいました。



正副議長が決まりました

3月4日、平成20年第1回市議会定例会が開会しました。議長に青木登美夫議員、副議長には関本照雄議員を選出。会期は27日までで、来年度の一般会計予算などを審議します。



青木登美夫議長



関本照雄副議長

バレーの熱戦通じ交流を

高崎市の浜川体育館で2月24日、レディースバレーボール大会を行いました。両市の交流を図ることを目的に、前橋・高崎連携事業として行うようになって、9回目。23チームが参加し、熱い戦いを繰り広げました。



前橋産「ゴロピカリ」で春の寿司作り



第23回全国服飾学校ファッション画コンクールで、774点の中から最高賞の文部科学大臣賞を獲得した。このコンクールは、創造性やデザイン能力の向上を図るために毎年開催される。

「自分が賞を取るなんて信じられませんでした。なぜ、わたしがという感じでしたね。でも、作品が高く評価されてうれしいです」

今年のテーマはエレガンスとモード。ニットの素材をイメージし、華麗さをアピールできるような工夫した。袖を大きくして、スカートのベルト部分を下に配置し、逆さにはいているように見せた。

「コンクールを意識しないで、遊び心をふんだんに取り入れたのがよかったかな。イメージがすぐわいてきて、このデザイン画は1日ぐらいで描けました」

現在、前橋文化服装専門学校3年生。中学生のころから自分の服をリメイクしたり、バッグや小物などを作ったりしていた。

「小さいころ、おばあちゃんがいっぱい裁縫をしていたんです。その姿を見て、わたしもしてみたいと思っていました。服飾の道に進んだ原点はそれだったのかもしれないね」

4月から東京のアパレル企業で、企画やデザインの仕事を始める。

「もっともつと勉強をして、自分の好きな洋服や小物を作ってみたいです」と夢を語る。

日々努力を忘れないで、将来世界に羽ばたくデザイナーとなっていきたい。

ニット素材で遊び心をふんだんに



ファッション画で文部科学大臣賞
石坂 麻衣さん・21歳
文京町一丁目

若い芽のポエム

昨年度行われた第10回「詩のまち前橋若い芽のポエム」コンクールの応募作品から、小学生の部で入賞した作品を紹介。学年は応募当時のものです。

★入選 ケンカ

宮城小4年
大崎 夢佳さん

友達とケンカをすると
悲しくて、悲しくて、しょうがない。

何をしていいのかわからない。

つらい。むねが苦しい、
なぜかこわい。

しぜんとなみだがふくに

「ポツン、ポツン。」とこぼれてくる。

こっそりなく。

きゅうになみだがあふれる。

仲よしの友達とケンカをすると、
一人ポツンになったみたいで、
さみしい。

「大好きなのに。」と思う。また、
「ポツン、ポツン。」と、おちてくる。

「キラワレちゃったのかな。」
と、思ってしまう。

★入選 あさがお

荒子小1年
木村 陽渚さん

おみずをあげてまっていたらハートがでた。

ハートのつぎはねこのてだよ。

つぎはなんだろう。

びっくり、へびみたいにつるがのびた。

そしたら こんどはねじれたパン。

でも、いろがついてる。

ひらいたら、ラッパになったよ。

うたがきこえるとおもしろいな。